JR東日本グループニュース



2023 年 8 月 23 日 東日本旅客鉄道株式会社 株式会社 JR 東日本商事

鉄道メンテナンスに関する英語併記の教育テキストを JRE MALL で発売! ~日本の鉄道技術の海外展開に貢献します~

- ○東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長:深澤 祐二、以下「JR 東日本」)と株式会社 JR 東日本 商事(代表取締役社長:井上 晋一)は、鉄道における線路設備や信号設備のメンテナンスの考え方 をまとめた「JR 東日本教育テキスト(英語併記)」を 2023 年 8 月 24 日(木)より JRE MALL にて販売 します。
- ○国内におけるメンテナンスのノウハウを海外に展開できるよう、英語併記としており、海外鉄道プロジェクトの実務者にお役立ていただけるとともに、日本の鉄道システムに興味・関心のある多くの方にも、お楽しみいただける内容となっています。
- OJR 東日本グループは、「変革 2027」に掲げる「当社グループの総合力を活かしたより豊かなライフスタイルの提供」の実現に向け、日本の鉄道技術・ノウハウの海外展開を積極的に進めていきます。

1. 商品名

JR 東日本教育テキスト(英語併記)

- (1)「保線作業と機械 -Track Maintenance Work and Machinery-」
- (2)「信号保安 -Railway Signaling-」
- 2. 内容 (詳細は別紙をご参照ください)

保線・信号に関する鉄道メンテナンスを日英併記で解説 ※商品は PDF データでのお渡しとなります。

3. 販売価格

(1)、(2)それぞれ 3,850 円(税込)

お支払(決済)は、クレジットカードもしくは JRE POINT となります。

テキストイメージ

4. 販売時期

2023 年 8 月 24 日(木)12 時~ JRE MALL 内の TRAINIART (トレニアート) にて販売します。

TRAINIART JRE MALL 店: https://www.jreastmall.com/shop/c/c01/

※本商品の購入後に送付される購入完了メールに、本商品のダウンロードURLとパスワードの記載が ございますので、そちらよりダウンロードいただきます。

別紙 JR 東日本教育テキスト「保線作業と機械」・「信号保安」 詳細内容

◆テキスト概要

タイトル	保線作業と機械 -Track Maintenance Work and Machinery-	信号保安 -Railway Signaling-
内容	 線路の整備 一線路整備の基本方針 一線路整備の基準、目標 ・保線の作業 一保線作業の流れ 一保線作業の種類 一軌道整備など ・保線機械 ・触車防止と運転保安 一線路閉鎖工事 一保守用車使用 	・信号保安の概要 ・列車間隔制御 ・列車進路制御 ・列車運行管理 ・列車検知 ・踏切保安と列車防護 ・電線路 ・電線路 ・電源措置 ・設備管理 ・新幹線設備 ・系統制と安全
ページ数	834 ページ	1,112 ページ
専門度	初級~中級	
特長	①初級者から中級者まで鉄道メンテナンスへの理解を深められる内容 ②日英併記により、国内外の実務者のニーズに対応 ③JR 東日本グループで実際に使用されている教育テキストを英訳化	

◆テキストのイメージ(「保線作業と機械 -Track Maintenance Work and Machinery-」)



◆テキストのイメージ(「信号保安 -Railway Signaling-」)



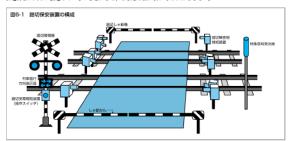
踏切保安装置 **Level Crossing Protection Facilities**



1 踏切保安装置の概要

(1) 踏切保安装置について

鉄道と道路が平面で交差している路切では、路切の通行者に列車が近づいていることを知らせ、路切事故を防止 するため、警報機やしめ新機を設けている。これらの設備を総称して、路切保安装置という(図 6-1)。 路切上での利率と路可通行者との事故は、死傷者の出る可能性が減く、社会的にも影響が大きいため、確実に路 切通行者に列車が接近していることを知らせ、事故を未然に防がなければならない。



(2) 踏切の種類

現在、JR東日本管内には以下の3種類の踏切がある。

① 第 1 種踏切道

第1種踏切進は、列車または専門の通過に際して道路交通をしや断する装置のある踏切で、踏切警報機およびし や新機が発揮されている。

② 第3種踏切道

第3種踏切道は、踏切警報機のみが設備されている踏切である。

③ 第4種踏切道

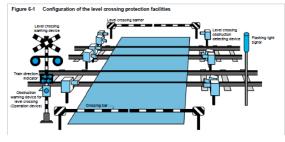
第4種踏切道は、踏切警報機もしゃ断機もなく、ただ単に踏切警標や踏切注意措がある踏切である。

1 Outline of level crossing protection facilities

(1) About level crossing protection facilities

At level crossings where milways and roads intersect in the same plane, warning devices and crossing barrier are installed to notify pedestrians at the level crossings that a twin is approaching and to prevent accidents in level crossings. These facilities are collectively colled level crossing protection facilities (Figure 6-1).

Accidents between a train and a passenger at a level crossing are highly likely to result in death or injury and have a large social impact, therefore, it is necessary to ensure that the level crossing passenger notices that a train is approaching, in order to prevent accidents.



(2) Types of level crossings

Currently, there are three types of level crossings as follows, under the jurisdiction of JR East.

1. Class 1 level crossing

A class 1 level crossing is a crossing with devices to block road traffic when a train or a vehicle passes and is equipped with a pair of level crossing warning device and a pair of crossing barrier.

A class 3 level crossing has only a pair of level crossing warning device.

3. Class 4 level crossing

A class 4 level crossing does not have a level crossing warning device or a crossing barrier, but simply has a level crossing warning sign and a level crossing warning fence.